

2007 年度臨時秋季研究大会プログラム

自由論題(10:00～12:00)

セッションA 文化と思想 4号館 201 教室

司会 木下資一(神戸大学国際文化学部教授)(予定)

1. 柴理子(東京情報大学情報文化学科講師)
「メディアの中の「東欧」: 明治期の新聞報道を手がかりに」
2. 鈴木裕輔(法政大学国際日本学研究所)
「石橋湛山における経済的自由主義と国際協調」
3. 齊藤泰治(早稲田大学政治経済学術院教授)
「中国近代の自由論」

セッションB 文化とコミュニケーション 4号館 202 教室

司会 熊田泰章(法政大学国際文化学部教授)(予定)

1. 中村優子(立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科博士後期課程)
「自己／他者、アクティビティ／アドベンチャー: 英語と日本語の広告における、自然のイメージと自然コミュニケーションの比較分析」
2. 森田系太郎(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士後期課程)
「環境的再帰性の構築に向けて」
3. 佐和達児(立命館大学立命館サステナビリティ学研究センター研究員)
「サステナブルな社会に向けての芸術文化の担う役割とは」

セッションC 文化の表象性 4号館 203 教室

司会 平野健一郎(早稲田大学政治経済学術院教授)

1. 比嘉理麻(筑波大学大学院人文社会科学研究科博士課程)
「バザール経済論から捉える沖縄の市場」
2. 金美連(日本大学国際関係学部非常勤講師)
「キリスト教信者の仏壇、焼香、墓への思い: 静岡県・三島市と静岡市の事例から」

3. 山崎眞次(早稲田大学政治経済学術院教授)
「クアウテモク銅像の移転問題:住民運動と文化行政の関係から」

セッションD 文化のなかの個人 4号館 206 教室

司会 寺田元一(名古屋市立大学人文社会学部教授)(予定)

1. 劉榮純(プール学院大学国際文化学部非常勤講師)
「国際結婚にみる家族の暮らしの諸相:韓国人女性と日本人男性の結婚・離婚をめぐる」
2. 柏木貴久子(関西大学外国語教育研究機構准教授)
「外国語教育からみる移民問題:ドイツの場合」
3. 井上央子(筑波大学人文社会科学部研究科博士課程)
「所有をめぐる実践:在日フィリピン人の子どもが生きる意味世界」
4. 古家聡(武蔵野大学人間関係学部教授)
「個人主義と集団主義に関する批判的考察:ナショナリズムと文化本質主義の視点から」

会員集会(12:30~13:00) 3号館第1会議室

共通論題(13:00~15:00)

セッション1「植民記憶の公共性について」4号館 201 教室

司会

川村湊(法政大学国際文化学部教授)

発表者

奥田孝晴(文教大学国際学部教授)

「歴史比較を通じて担保することができる公共性とは:東アジア教科書編纂研究会から」

椎野信雄(文教大学国際学部教授)

「近代の記憶としての『日本史』をアンラーン:公共の中の『公』と『共』」

若林一平(文教大学国際学部教授)

「歴史記憶の弁証法」

懇親会(15:30~16:30) 4号館 202 教室